



地本大会の発言に基づき、申2号を申し入れる！

地本は、7月15日に第37回定期大会を開催しました。大会では15名の代議員から、「本人の描くキャリアプランの実現に向けて、管理者とのコミュニケーションが足りない」、「安全に対する意識が、職場と会社に乖離が見られ、事象に対しても原因究明よりも責任追及の面が大きくなっている」などの発言がありました。代議員の発言をもとに、地本は申2号『「第37回定期大会」の発言に踏まえた申し入れ』を会社に提出しました！

【申し入れ項目】

- 1、「新たなジョブローテーション」は労使議論に踏まえて、職場での説明会を実施すること。また、キャリアプランを描くために、個々人に合わせた教育・訓練やコミュニケーション等を図り、管理者間の共有をしっかりと実施すること。
- 2、「新たなジョブローテーション」は労使議論を遵守し、全社員が納得感をもって担えるように、施策の主旨を理解させて実施すること。また、運輸から営業へ異動になり乗務業務を希望する組合員には、必要な適正検査を受検させること。
- 3、イベント等でお客さまのご利用の増加が見込まれる場合は、事前に十分な計画を立て、乗務員運用を行い、臨時列車の運転や車両の増結等を行うこと。
- 4、蘇我運輸区で発生した「Joi-Tabの初期設定を自分の時間で行った事象の調査結果」を明らかにすると共に、自分の時間で行った場合については労働時間とすること。
- 5、春闘や期末手当の時期に、社友会と会社幹部との意見交換の場で、ベースアップ等を要求するようなことが見受けられるが、千葉支社としての見解を示すこと。なお、その意見交換はどのような時間で行ったのか示すこと。
- 6、2月に発生した、複数回の停止位置不良を起こした習志野運輸区の組合員に対して、長期に渡る日勤教育を行った見解を明らかにすること。また、現場長が人格否定とも捉えられる発言がしたことから、調査し是正させること。
- 7、木更津統括センターにおいて、新たな担務を担う社員に対して、サポート不足であることが見受けられることから、施策を担う社員の不安を払拭し、働きやすい環境とすること。
- 8、週刊文春で報道された不適切な事象について、全社員に対しての説明を行うと共に、会社経営陣に対し、コンプライアンス等の教育を徹底すること。

代議員の発言をもとに申し入れを行いました！今後会社と団体交渉を行い、施策を担う組合員の不安を解消し、会社の発展と組合員・家族の幸せを実現する為に、建設的な議論を行います！